

# 山村留学に続く新たな地域交流で集落の担い手・支え手づくり

新城生活圏(かつらぎ町)

## 基礎条件

- 【人口】122人
- 【高齢化率】46%
- 【世帯数】55世帯  
(うち1人暮らし22世帯)
- 【地域内の産業】 農業(米)  
第1次: 第2次: 第3次  
35% : 13% : 52%

## 【生活環境】

- 金融機関: 毛原郵便局(紀美野町長谷毛原)  
JA紀北かわかみ新城グリーン店
- 学校: 渋田小学校(東渋田)、笠田中学校(笠田東)
- 医療機関: 県立医科大学付属病院紀北分院(かつらぎ町妙寺)  
紀美野町長谷毛原診療所(紀美野町長谷毛原)
- 交通: 中核都市が通勤圏内  
(橋本市まで約40分、和歌山市まで約1時間半)  
かつらぎ町コミュニティバス(笠田駅まで7往復/日)

## 【宿泊施設】リバーサイド新城キャンプ場

たまゆらの里(紀美野町)

## 【町営住宅】4戸

【地域おこし協力隊】1名受入れ予定(H27秋頃~)

## 【本地域の特徴】

- 全国に先駆けた「山村留学」の取り組み
- ・里親制度による受け入れ
- ・過去30年間の卒業生は454人

※地区内の小学校はH24に廃校

## 問題認識

- ・地区内の小学校が廃校になり、  
従来どおりの山村留学の受け入れが困難。
- ・高齢化に伴い、地域行事等の運営が厳しい。



若い世代を地域に呼び込む必要がある。  
移住者を受け入れるとともに、地域に関わる人を  
増やし、賑わいを取り戻したい。

## 1. 人を呼び込むきっかけづくり

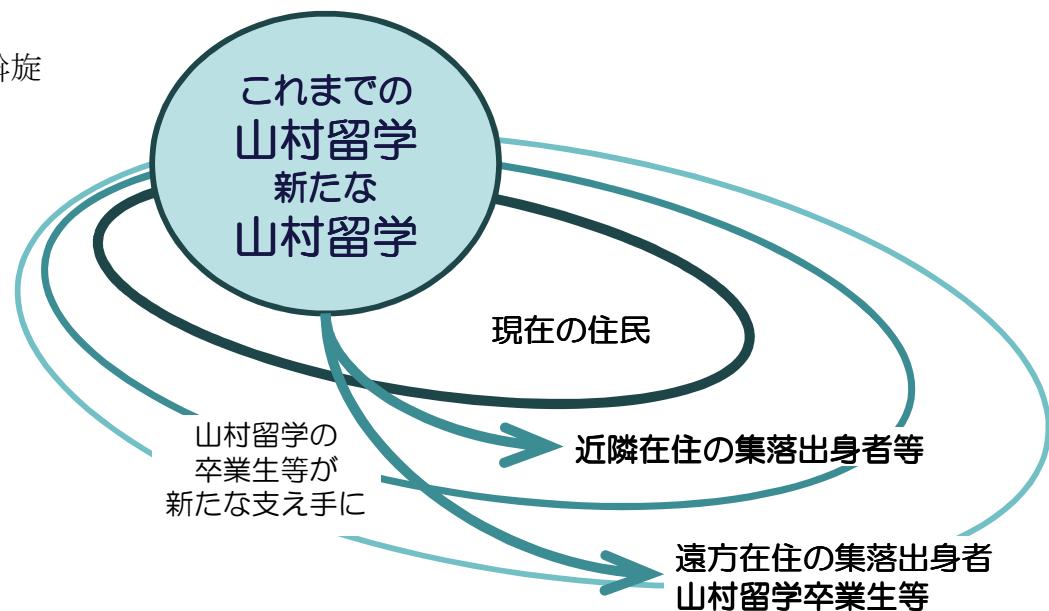
- 山村留学卒業生同窓会
- 短期山村留学の受け入れ  
(親子で山村留学、大人の山村留学)
- 移住者等と地域の交流イベント
- 大阪樟蔭女子大学との提携

## 2. 魅力アップに向けて

- 地域のみどころ看板、ガイドマップ
- 地域食材による健康レシピ、产品づくり  
→ 山村留学の呼び物メニューに
- 旧新城小学校を活用した拠点づくり 【かつらぎ町】
- 遊休農地で野菜栽培  
→ 山村留学への食材提供、「ふるさと宅急便」
- 耕作放棄地を花畑に  
→ 地域の景観美化
- 安心な暮らしのための独居高齢者見守り体制の整備

## 3. 移住につなげる

- 空き家の調査
- 農地・空き家の斡旋
- お試し住宅整備  
【かつらぎ町】



## 目指す姿

- 地域内に新たな移住者を呼び込む
- この地域に思い入れを持つ人を増やし  
地域の担い手・支え手となる人の裾野を広げる

## 【事業期間】

平成27年秋～平成30年3月

## 【事業主体】

新城寄合会、かつらぎ町

## 【予算】

和歌山県過疎集落再生・活性化支援事業

全体事業費 24,977千円

うち県 8,039千円